

”宮沢賢治のイーハトーブ花巻レストラン”を小岩井農場TOKYOで開催します ～銀河鉄道の夜をテーマに2月7日から1週間開催～

花巻市は、東京駅前丸の内ビルにあるレストラン“小岩井農場TOKYO”で“宮沢賢治のイーハトーブ花巻レストラン”を2月7日（金）から2月13日（木）まで期間限定で開催します。期間中はすべてのメニューが宮沢賢治の代表作の一つ“銀河鉄道の夜”をテーマにした創作メニューにかわります。

更に、2月8日（土）には、本企画の元となったエッセー「宮沢賢治の花巻レストラン」を市ウェブサイト“まきまき花巻”で執筆した中野由貴（なかの ゆき）さんと“ものがたりグループ☆ポランの会”によるトーク＆朗読イベントも開催します。花巻産農畜産物の魅力をより多くの方に知っていただくための本企画、童話“銀河鉄道の夜”のエッセンスと花巻産食材の魅力が溶け込んだ魅惑の料理をご堪能ください。

宮沢賢治のイーハトーブ花巻レストランの概要

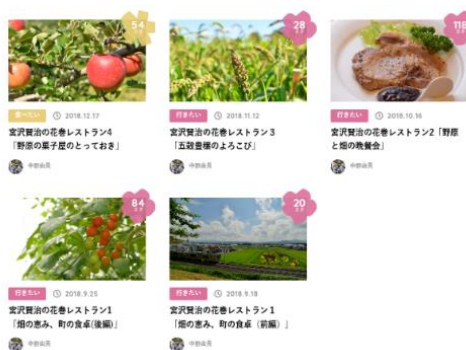
- 【開催店舗】 小岩井農場TOKYO
住所：東京都千代田区丸の内2丁目4-1 丸の内ビルディング5階
電話：03-5224-3070
- 【開催期間】 令和2年2月7日（金）～2月13日（木）
- 【営業時間】 午前11時～午後4時、午後5時30分～午後11時まで（日曜・祝祭日は午後10時まで）
- 【関連行事】 賢治×花巻の農・食トーク＆朗読イベント
日時：令和2年2月8日（土）午後2時30分から午後4時まで
場所：小岩井農場TOKYO
内容：中野由貴さんと“ものがたりグループ☆ポランの会”によるトーク＆朗読
料金：税込2,200円（先着25名、事前申込が必要）
申込：令和2年1月7日（火）から受付開始
専用ホームページ（1月7日開設、市HPにリンク掲載予定）又はFAXで農政課へ申込
FAX：0198-23-1403

見て・味で ポイント

- ▶期間中は全てのメニューが宮沢賢治の代表作の一つ“銀河鉄道の夜”をテーマにした創作メニューに！
- ▶エッセー“宮沢賢治の花巻レストラン”で架空のレストランに見立てて紹介されたメニューが“リアル”なレストランで堪能できる！
- ▶メインの食材は花巻産・小岩井農場産・岩手県産を使用！
- ▶宮沢賢治作品に出会ったことをきっかけに、料理・花巻・小岩井農場と深い関わりを持つようになった中野由貴さんの、宮沢賢治の育った花巻の農の風景や賢治の描いた物語世界のおいしい話が聞ける！
- ▶平成31年2月の初開催に続き、2回目の開催。初開催時は6日間で約600人が来店！



<平成31年2月開催の様子>



<まきまき花巻掲載エッセー（全5回掲載）>

http://makimaki-hanamaki.com/author-list/yuki_nakano

《参考》

中野由貴（なかのゆき）さん プロフィール

宮沢賢治イーハトーブ花巻レストランのメニュー監修者。料理研究家・文筆家 絵本・食・宮沢賢治をテーマに制作、研究、執筆を行っている。著書に「宮沢賢治のレストラン」「宮沢賢治のお菓子な国」（平凡社）、「にっぽんたねとりハンドブック」（共著・現代書館）ほか。宮沢賢治学会会員、希望郷いわて文化大使。兵庫県在住。

小岩井農場TOKYO

東京駅前、丸ビル5階にある小岩井農場の直営レストラン。令和元年9月にリニューアルオープンし、店名が小岩井プレミナールから小岩井農場TOKYOとなりました。小岩井農場産の卵やお肉・乳製品などを使用した「まきば料理」に定評があります。

平成31年2月「宮沢賢治のイーハトーブ花巻レストラン」の開催状況

- ・2月15日から21日まで6日間（18日は休館日）開催され約600名が期間中に来店
- ・宮沢賢治作品に登場する不思議な食べ物など16作品から26メニューが提供されました
- ・来店者アンケートでは、九州や北陸など遠方からの来店者もありました
- ・twitterでは、希望郷いわて文化大使の声優・桑島法子が来店を報告するなど話題となりました

花巻市内開催「宮沢賢治のイーハトーブ花巻レストラン」との連携

- ・今年初めて令和元年8月～11月に、花巻の食材を使用した童話メニューを提供する本企画を花巻市内で8つの飲食店と2つの施設で開催しました
- ・来店者アンケートによると、平成31年2月の東京開催時に来店し本企画を知ったことで、花巻市内での開催時にも県外から訪れた宮沢賢治ファンがおり、宮沢賢治を通じて花巻の農業・食を知ってもらいきっかけとなっています

市の農畜産物の魅力発信の取組

花巻市は、米・雑穀・野菜・果樹・酪農・畜産・花きと主力品目が多岐にわたり、豊かな農業が営まれており、その多様さを活かし宮沢賢治とその作品に関連付けて魅力発信する取り組みを平成30年度から始めています。

その取り組みの一環として市ウェブサイト“まきまき花巻”では、宮沢賢治の農業や食にまつわるエピソードを現在の花巻市内の農業者や市内で生産される農畜産物と絡めて紹介するエッセー“宮沢賢治の花巻レストラン”を掲載しています。